

図表4-1-13 ▶NTTグループ中期経営戦略『Your Value Partner 2025』（2018年11月6日）抜粋



出所：NTT「NTTグループ中期経営戦略『Your Value Partner 2025』（2018年11月6日）をもとに作成

通じ、NTTは本業の通信以外にも積極的に領域を広げてきた。NTTコムウェアやNTTファシリティーズはそれぞれソフトウェアや電力・建築分野の専門性を活かしたビジネスを展開し、エネットのように電力小売へ参入する事例もあった。

さらに2018年11月の中期経営戦略「Your Value Partner 2025」(図表4-1-13)では、NTTアーバンソリューションズやNTTアノードエナジー、NTTライフサイエンスといった新会社を相次いで設立し、街づくりやスマートエネルギー、メディカルサイエンスといった新事業を本格的に拡充している。農業分野ではNTTアグリテクノロジーを、eスポーツ分野ではNTTe-Sportsを立ち上げるなど、一次産業やエンターテインメント領域にも進出した。

2023年6月には、AI活用の急拡大に伴う電力消費を抑える目的で光電融合デバイスを実用化するNTTインバーティブデバイスを設立するなど、通信の枠を超えた多角的イノベーションに挑んでいる。

### ⑤研究開発体制の見直し

NTTの強みは、日本を代表する研究機関としての歴史と実績にある。民営化や再編成を経ても、研究開発部門は絶えず進化を続け、ICTを中心とした基礎・応用研究を幅

広く手がけてきた。1994年、1996年、1999年、2012年、2015年など、たび重なる研究所組織の再編を実施しながら、量子技術やAI、セキュリティ、ネットワーク基盤技術に至るまで多岐にわたるテーマに取り組んできた。

2019年4月には、米国のシリコンバレーに海外基礎研究拠点NTT Research, Inc.を設立し、量子計算科学や暗号情報理論、生体情報処理の領域で世界中の研究者との連携を強化している。2020年7月には宇宙環境エネルギー研究所を開設し、核融合や宇宙太陽光発電、人工光合成など、従来の通信企業の枠を超えたテーマへも積極的に取り組んでいる。2021年7月に設置されたIOWN総合イノベーションセンタは、光技術をベースとする次世代ネットワーク構想「IOWN」や6Gにフォーカスし、社会情報研究所やネットワークイノベーションセンタなどの再編を通じて研究開発力を一段と高めている。

### 1-3. 街づくり事業の再編(NTT都市開発の上場廃止とNTTアーバンソリューションズの設立)

NTTは2018年、中期経営戦略「Your Value Partner 2025」において、グループで持つ不動産やICT・エネルギー